

令和5年度 矢沢地区

文化祭

会場:矢沢振興センター

【作品展示】講堂

- ◎ 11月11日(土) 09時~16時
- ◎ 11月12日(日) 09時~15時

【体験コーナー】大広間

- ◎ 11月11日(土) 09時~15時
「簡単♪ハンドメイド体験」
えだまめストラップを作ろう! (無料)



【ステージ発表】大広間

- ◎ 11月12日(日) 10時~12時
- 1 10時10分~ 藤美会
- 2 10時20分~ 矢沢コールファミリー
- 3 10時30分~ 花陽会
- 4 10時40分~ 快活ダンス・カサブランカ
- 5 10時50分~ 風のハーモニー
- 6 11時00分~ 崇扇会
- 7 11時10分~ 愛唱歌を歌う会
- 8 11時20分~ 矢沢吟詠会
- 9 11時30分~ かつぼれ同好会



たくさんの方のご来場を
お待ちしております。

4年振りの寿サロン!

花巻市社会福祉協議会矢沢支部(佐藤和見支部長)では、10月17日に4年振りとなる矢沢地区ふれあい寿サロンを開催しました。

65歳以上の高齢者世帯で「安心カルテ」に登録している方が対象となり、当日は86名の方が参加、ご来賓、主催者等含め総勢182名の参加となりました。3つのこども園の可愛い園児による遊戯の披露、矢沢を代表する名手の舞踊のアトラクション、最後に飛び入り有の新花巻音頭と6年振りの開催会場となった矢沢振興センターでの寿サロンは、和やかなうちに幕を閉じました。来年も元気にお会いしましょう!

第14回 矢沢伝統芸能伝承大会

11月19日(日) 午後1時~
矢沢振興センター・講堂

皆様のご来場をお待ちしています!

【演目・出演団体】

- ◎ 御神楽奏上 胡四王神楽
- 1 ご祝い唄 高松第三行政区
- 2 和太鼓 菫蕾・蕾夢
島こども園
- 3 しんがく やさわこども園
- 4 百姓踊り 胡四王百姓踊り
保存会
- 5 鳥舞 胡四王神楽
- 6 三番叟 幸田神楽
- 7 裏八幡舞 胡四王神楽
- 8 曾我兄弟 幸田神楽
- 9 稲田姫 胡四王神楽
- 10 天降り 幸田神楽
- 11 権現舞 高木小路神楽



司会・進行役の
運営委員・押切和美さん



やさわこども園
「キッズソーラン」



参加者一体となり
「新花巻音頭」



たかきこども園
「ようこそ日本へ」



島こども園
「ともだち賛歌」

◎ 矢沢地区グラウンドゴルフ大会 雨中の熱戦！

10月15日、雨模様の中で、46名が参加して第37回グラウンドゴルフ大会が開催され、荒屋敷の小田島眞吉さんが見事優勝。また、矢沢体協主催の団体戦は第11回を迎え、高木第二行政区が二連覇を果たしました。

◎ 団体順位(行政区別:上位3名による)

- 1位: 高木第二 2位: 東十二丁目
 3位: 高木第一 4位: 高木第三
 5位: 高松第二 6位: 高松第三
 7位: 高木小路

◎ 個人成績(参加者46名・上位10名:敬称略)

順位	氏名	得点	順位	氏名	得点
1	小田島眞吉	56	2	富澤 親孝	58
3	佐藤 健勇	59	4	菅原 陸郎	60
5	小田島克郎	64	6	川村 鉄雄	65
7	菊池 誠治	65	8	高橋 幸男	66
9	佐藤すみ江	67	10	北条 滋夫	68



右から小田島克郎さん・菅原陸郎さん・小田島眞吉さん・佐藤健勇さん・富澤親孝さん・伊藤昇さん



山月会より

令和5年度矢沢振興センターの暖房料

大広間 (FF 式ストーブ)	220 円
講堂 (大型ストーブ)	150 円
2階和室 (大型ストーブ)	150 円
談話室 (大型ストーブ)	150 円

※ 火のお取り扱いには十分ご注意ください！

注: 暖房使用料

一台1時間あたり(ただし30分以上は切り上げ)

✿ 移動図書館(ごんが号) 運行日程 ✿

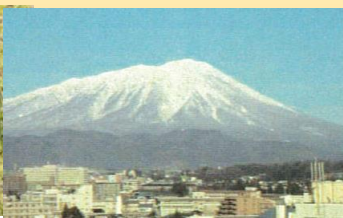
11/9 (木)	団地会館	13:40~14:00
11/9 (木)	福祉センター	14:15~14:45
11/15 (水)	高木観音	09:20~09:50
11/15 (水)	振興センター	10:05~10:35
11/15 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

【事務局員のつぶやき】(冬の足音—季節現象観測とは！)

暑い夏が終わり、短い秋も進み晩秋となり、気象用語での「寒候期(前年の10月から当年の3月、例えば今期の場合2024年寒候期)」に入っています。盛岡地方気象台では、この時期の「季節現象観測」として、岩手山の「初冠雪」・「初霜」・「初氷」・「初雪」を観測しています。岩手山の「初冠雪」は気象台職員が気象台庁舎付近から岩手山が雪に覆われていることを確認した最初の日で、もちろん初雪や初積雪とは違います。「初霜」は大気中の水蒸気が昇華(気体から個体)して、地面や葉っぱなどに付着した氷の結晶の霜を初めて観測した日で、気象台職員が露場(観測機器を設置している芝生の場所)で確認します。「初氷」は初めて「結氷」が観測された日を云います。結氷とは屋外の水が氷る現象を指し、露場に用意した結氷皿の水が凍っているのを気象台職員が確認しています。「初雪」は2020年(令和2年)2月までは雪の観測は気象台職員が目視観測により記録していましたが、現在(令和2年2月3日から)は合理化と機械化が進み、機械による自動観測によって雪かどうかを判別しています。その機械が雪、あるいはみぞれを初めて観測した場合に初雪となります。今年の岩手山の初冠雪は10月17日に観測、平年より4日遅く、昨年より11日遅い観測でした。9月19日に仙台管区気象台が発表した寒候期予報では、今年の冬(12月—2月)の平均気温は平年並みまたは高い確率が共に40%、山沿いの降雪量は平年並み又は少ない確率共に40%と暖冬気味と予想されています。主要因として、エルニーニョ現象が続き、偏西風が日本付近で北に蛇行し平年より北を流れる見込みで、冬型の気圧配置は持続せず寒気の南下も弱い(シベリア高気圧の南東側への張り出しが弱い)。また、地球温暖化の影響等で、地球全体の大気の温度が高いことも影響しているようです。



露場に置かれた結氷皿



雪に覆われた岩手山

☞ 盛岡における寒候期の季節現象

現象	平年	昨年	最早	最晩
岩手山初冠雪	10月13日	10月6日	9月21日 1992年	11月4日 2001年
初霜	10月26日	10月19日	9月27日 1984年	11月10日 2017年
初氷	10月31日	10月25日	10月6日 1966年	11月18日 1924年
初雪	11月9日	11月16日	※	※

※初雪の最早・最晩の統計は、雪の観測が2020年2月3日から自動観測となったため、ここでは記載しません。